

由布市長 公共交通網の在り方 「根本的に見直す」

由布市の相馬尊重市長は11月30日、市のコミュニティーバスを含めた公共交通網について「根本的に見直し、2019年度に新たなスタートをしたい」との考

えを示した。

市民有志でつくる「もっと便利なコミュニティーバスを考える会」(有馬義一、千竈八重子共同代表)と湯布院庁舎で意見交換。



あいさつする相馬尊重市長

会員は「高齢で免許返納の必要性を感じる」「周辺部では買い物などが難しい」「外出がおっくうで家に引きこもるお年寄りが多い」などと実情を説明。コミュニティーバスの便数が少ない点などを指摘し、改善や新手法の導入を求めた。相馬市長は「公平性や財源など総合的に考える必要がある。皆さんと思いは同

じ。使いやすいバスにした
い」と述べた。